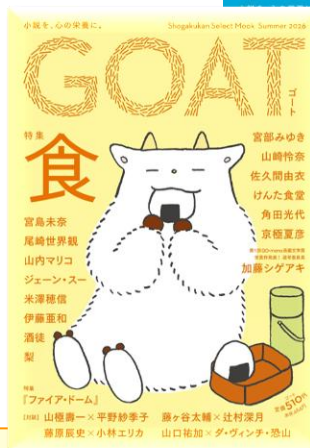


小説を、心の栄養に。

紙で刊行する新文芸誌

GOAT

「 Goat 」



「GOAT」 第5号は12月2日発売決定！

大特集は『時』



今回では「時」という普遍的なテーマをもとに
ジャンルを横断した作家たちによる作品をお届けします

★「時」に関連のある広告主様などございましたら、
何なりとご連絡下さい！ ※時と関連なくてもお待ちしております！

- さらに今回は「ドラえもん」と「時」を掛け合わせた特別企画も
予定。過去・現在・未来を行き来する視点から作家たちが
それぞれの「時間」を描きます！



刊行形態	不定期刊
次号発売日	2026年12月2日発売予定
予価	510円（本体464円）
判型	A5判
創刊	2024年11月27日
発行部数	15万部

<https://dps.shogakukan.co.jp/goat>

編集長メッセージ



GOAT編集長
三橋 薫

紙で刊行する新文芸誌「GOAT」は、

「自分たちが心の底から読みたい、みんなに読んでほしい小説を集めた文芸誌を作りたい」という編集部の思いから誕生しました。

誌名の由来は、紙を愛してやまない《ヤギ》と、《Greatest Of All Time（＝史上最高の）》の頭文字から。

「かつてない紙の文芸誌を作りたい」という気持ちを込めています。

エンタメや純文学といった線引きは一切なしで、

もっと小説をカジュアルに。

心の栄養になるような、ただ純粹に「面白い！」と思ってもらえるような小説をお届けしていきます。

また、新たな読者と出会うため、紙の本にアクセス出来ない読書困難者に向け、電子書籍の配信やテキストデータの提供、オーディオブックでの配信などを進めていったり（読書バリアフリー）、小説界にとどまらないクリエイターの発掘にも積極的にGo at（＝取り組む）していきます。

小説の新たな可能性を探っていきましょう。

ページをめくれば

世界が広がる。

小説を、心の栄養に。



TOTAL 58万5,250部！

文芸誌界隈では珍しい驚異の発行部数をたたき出しています！！

主な読者層・発行部数



創刊号
2024年11月発売



紙145,500部 + 電子7,400DL
累計15万2,900部

第2号
2025年6月発売



紙144,800部 + 電子5,000DL
累計14万9,800部

第3号
2025年12月発売



紙130,000部 + 電子1,900DL
累計13万1,900部

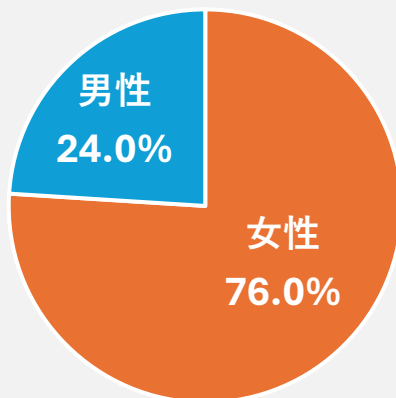
第4号
2026年6月発売



紙150,000部 + 電子650DL
累計15万650部(6月末現在)

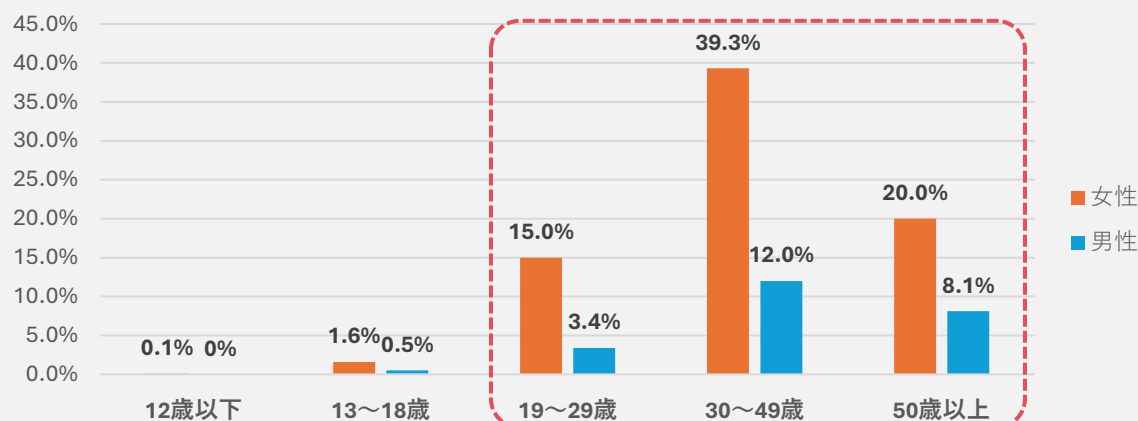
毎号恒例で加藤シゲアキさん、藤ヶ谷太輔さんなどの起用もあり、女性から多くの支持を集めています。年齢別ではおもに20代～50代が中心読者となっており、他社の文芸誌にはない文学を愛する活動的な幅広い層に発行ごとに購読されています。

性別



女性が約7割超え

年齢



女性30～40代が最も多く、20代から50代男女に幅広く読まれています



「時」大特集の中で 豪華執筆陣が！

「ドラえもん」「時」をテーマに
小説を書き下ろします！

時間をテーマに語るうえで
欠かすことのできない存在である
「ドラえもん」。

- ・ タイムマシン
- ・ 過去と未来の往来
- ・ 世代を超えた共通の記憶

今号ではその世界観を軸に、
作家たちがそれぞれの「時間」を
描きます。

過去のタイアップ事例



『GOAT』のマスコットキャラクター「ゴートくん」。
素朴でゆるゆるとした姿が愛らしく、読者に大人気。そんな「ゴートくん」を起用した
イラストタイアップは、ちょっとした箸休めとして多くの読者に届きました。



エプソン販売株式会社様

新たな紙の可能性を探る旅②
ゴートくんがゆく！ 小学館「再生紙工房」編

小学館が編集部から出た古紙を回収し、社内で新たな再生紙を製造している……そんな噂を聞きつけたゴートくんが、小学館本社から徒歩3分の再生紙工房にやってきました！

これがPaperLabだ！

再生紙工房では、2023年秋よりエプソンの「乾式オフィス製紙機(PaperLab A-8000)」を導入し、A3とA4の常用サイズのコピー用紙から、再生紙(リサイクルペーパー)を生み出しています。再生紙は厚みや色も変えずに生産できます。コピー用紙としての再利用のほか、再生した紙を仕立てて文芸やオリジナルノートや、オリジナルノベルティなども作成可能です。
[問]小学館「再生紙工房」03-5577-2121

3 再生紙が完成！

投げ込みチラシ
オリジナルノート
再び印刷へ
環境に配慮した複合機

2 PaperLabに通す

PaperLab(ペーパーラボ)は、エプソンが2016年に発売した使用済みの古紙を原料として、新たな紙を生産できる乾式パルプ製紙機です。環境保全はもたらすこと、再生サイクルが社内で完結するので、徹底管理にも役立っています。

1 古紙を回収する

編集部からコピー用紙を回収し、明らかに汚れている紙を仕分けします。ホコリなども除去、分別した古紙はその場で新たな紙に生まれ変わります。

ドネドネ…(うまくいかなる)

PR
協力/エプソン販売株式会社
[PaperLab製品] [スマートページ製品] [環境貢献の動画]

エプソン販売の「Paper Lab」は古紙から再生紙を作る乾式製紙機。比較的小さなスペースに設置可能で、事業所単位での導入も進んでいます。小学館にも導入されており、その再生紙は『GOAT』のチラシなどでも使用されています。その再生紙作成過程を紙が大好きな「ゴートくん」に体験してもらうタイアップを実施しました。

全国農業協同組合連合会様

新たな紙の可能性を探る旅①
ゴートくんがゆく！ Rems ペーパー編

企業の加工・製造過程で余ったもの(端材)を原料として、大王製紙が新たな紙をつくらせている……そんな噂を聞きつけ、ゴートくんが向かった先は、田んぼでした。

私たちの事業にならぶお米。それは収穫した稲わらを乾燥させ、もみ殻を取り除き(玄米)、さらに精米されることで食糧になります。その過程で大量に出るもみ殻の一部は、廃棄業者に頼んで処分するしなくて、農家の悩みのひとつでした。もみ殻の有効利用を考えよう！と命題は、このたび大王製紙に紙の原料として提供しました。

もみ殻が紙に？

もみ殻は、大王製紙の工場で紙の原料となるパルプと混ぜ合わされ、さまざまな工程を経て、新たな紙として生まれます。こうして新たに製した紙は、本紙、新聞、本紙など、さまざまな紙製品として使われています。

今回、「愛と再生」特集に使われたのは、まさにJA全農と大王製紙のコラボによって生まれたRemsスタンダードFSです。紙のエコサイクルは新たな時代へ……。『GOAT』もサステナブルな社会を担っています。

Rems 全農
ZSBN 0001

大王製紙とJA全農のコラボによって生まれた紙である「Rems」。廃棄されることの多いもみ殻を紙の原料として有効利用し、パルプに混ぜて作られたものです。その製造過程を「ゴートくん」起用のイラストを使い、わかりやすく解説。その紙は実際に『GOAT』創刊号でも使用され、サステナブルな社会を目指す広告主さまのイメージアップに繋がりました。

広告メニュー

スペース	掲載料金（円）	原稿寸法と形態 （天地×左右mm）	申込〆切	校了
表2	500,000	210×148	10月16日（金）頃	10月30日（金）
表3	400,000	210×148		
4C3P タイアップ	2,000,000	見開き起こし,片起こし いずれも可	9月4日（金）頃	
1C3P タイアップ	1,500,000	見開き起こし,片起こし いずれも可		

※表2・表3につきましては、重要な文字、絵柄は、天地各5mm 左右各5mmに（ただし、ノド側は7mm）入ってくることはないよう作成いただきますようお願いいたします

※小説家起用タイアップにつきましては担当までご連絡ください（別途、起用料がかかります）
今回のテーマ「時」に沿ったストーリーなどもご相談ください

※誌面外展開・・・GOATでは本誌誌面にとどまらず、広告主さまのブランドサイトでの作品掲載なども受け付けいたします。担当までご相談ください

お問い合わせ



小学館 メディアビジネス局 吉田 圭一郎
 ☎ 03-3230-5364
 ✉ yoshi116@mail.shogakukan.co.jp

